

別紙 12 必要機能・規模等

| 施設・機能 | | | 規模・内容等 | |
|-------|----------------|--|---|---|
| 屋内 | 施設全体 | — | <ul style="list-style-type: none"> ・延べ面積 3,700 m²以上とする。 | |
| | 個別整備機能 (※1) | 図書館 | 全体 | <ul style="list-style-type: none"> ・書架の間のスペースを十分に確保し、車椅子、ベビーカー等が利用し易いよう配慮する。 ・滞在型施設として、利用者が自由に読書を楽しめる施設とする。テーブル席、スツール席、ソファ席などを適宜配置し、快適でゆったりとした読書空間づくりをめざす。 ・閉館時にも返却可能で、利用者と運営業務を実施する事業者双方にとって利便性が確保できる位置に、ブックポストを設置する。 ・事務室、作業室、倉庫、搬出入機能との連携に留意するとともに、書籍の劣化防止に配慮した計画とする（照明計画含む）。 ・システム及びネットワークについては、「別紙 15 図書情報システム及び IC タグについて」を踏まえ機器の配置やあり方を提案すること |
| | | 開架・閲覧（図書、雑誌、視聴覚資料等） | | <ul style="list-style-type: none"> ・「別紙 14 蔵書計画等に関する考え方」に記載した蔵書冊数等が収蔵可能な計画とする。 ・壁面活用などによりスペース効率を上げるとともに、画一的な配置・空間にならないように配慮する。 ・特に、地域資料、青少年向けサービスについては、個別にコーナーを設ける等充実を図る。 ・利便性に配慮しつつ、その他機能との融合した配架を認める。 |
| | | 貸出・レファレンス(カウンター、受付、貸出機等) | | <ul style="list-style-type: none"> ・開架・閲覧機能と連続し、カウンター、受付、貸出機等を設ける。 ・配置にあたっては、利用者の利便性、業務の効率性の双方に配慮する。 |
| | | こどもとしゃかん（開架・閲覧機能、おはなしの部屋等） | | <ul style="list-style-type: none"> ・「別紙 14 蔵書計画等に関する考え方」に記載した蔵書冊数等が収蔵可能な計画とする。 ・書架の高さや配置は、子どもが主たる利用者であることを踏まえるものとする。 ・読み聞かせ等に利用可能な「おはなしの部屋」を設ける。規模・仕様は提案による。個室である必要はないが、子どもが集中して読み聞かせ等に参加できるよう、遮音性等に配慮すること。 |
| 開架書庫 | | <ul style="list-style-type: none"> ・「別紙 14 蔵書計画等に関する考え方」を踏まえた規模とする。 | | |

| 施設・機能 | | 規模・内容等 |
|-------|---------------|--|
| | (仮称) 郷土資料館 | 全体 <ul style="list-style-type: none"> ・博物館法第 29 条に定める施設（博物館相当施設）の指定を受けられる計画とする。文化財保護法第 27 条に基づき指定される重要文化財等の展示ができる施設計画とする。ただし、施設・設備の仕様については、過剰にならないよう配慮するものとする。なお、博物館相当施設としての指定にあたり、市及び事業者は、新潟県を含めた関連機関等との協議を行うものとする。 ・資料の保存、展示について IPM（Integrated Pest Management）、耐火性・耐震性、温湿度、紫外線、防火・防犯体制について十分配慮した施設とする。 ・デジタルサイネージ（75 インチ以上）機器を設置し、デジタル化した資料やその他コンテンツを活用した情報発信を行うこと。デジタルサイネージは、図書館やその他の機能と共用のものとしてインタラクティブな活用方法の提案も期待する。 |
| | | 常設展示 <ul style="list-style-type: none"> ・面積は 150 ㎡以上とし、利用者が気軽に小千谷の歴史や文化に触れられるよう配慮する。 ・展示内容は「別紙 20 （仮称）郷土資料館における資料等について」を踏まえ、適切な入れ替え等を前提に、展示ケースや可動式パネル等を必要により設置する。特に、郷土の偉人である西脇順三郎に関連する資料について、解説も含め分かり易く展示するコーナーを設ける。 |
| | | 企画展示 <ul style="list-style-type: none"> ・入場料を徴収する企画展が実施可能な機能・規模とし、詳細は提案とする。 ・本市が所蔵する郷土資料や、市内外の他施設の所蔵品を活用した企画展、市民による展示、市民活動など多様な利用を想定する。常設展示スペースと連携して利用できるようにするなど、様々な形での利用を想定した配置及び動線計画とする。 ・映像、音楽等を利用した作品の展示にも対応した設備を備える。 |
| | | 保存・展示準備 <ul style="list-style-type: none"> ・「別紙 20 （仮称）郷土資料館における資料等について」を踏まえた規模とする。 ・文化財の保管、常設展及び企画展の実施に対応可能な規模とする。 ・常設展示スペース・企画展示スペースとあわせ、搬入口、荷受・荷解スペース、収蔵庫、展示準備スペース、倉庫を設ける。規模や構成は展示内容を踏まえ、提案による。 ・収蔵庫に関しては、恒温恒湿の状態でも管理できる空調設備、ガス吸着内装材、必要な防火・消火設備及び防犯設備を備えるとともに、収蔵品保護の観点から前室を設置する。 ・収蔵庫及び前室は RC 造とする。 |

| 施設・機能 | | 規模・内容等 |
|-------|------------|--|
| | スタジオ、多目的室 | <p>ダンススタジオ、音楽スタジオ、多目的室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタジオ及び多目的室に関しては、他の施設の開館時間外での利用が可能な配置計画とする。 ・必要な備品については、「別紙 13 什器・備品等リスト」を参照すること。また、稼働壁は十分な防音機能を有するものとする。 ・十分な防音機能を備えた音楽練習スタジオを設ける。面積は 20 m²以上とする。 ・ダンス練習等に使用が可能なスタジオを設ける。面積は 150 m²程度とする。壁のうち少なくとも 1 面は鏡張り（利用しない場合には隠せるように配慮）とするとともに、ダンス、バレエ、演劇等の利用にも対応する。 ・会議、講演、その他様々な形での利用を想定した多目的室を設ける。面積は 100 m²程度とし、可動壁等により 2～3 分割での利用が可能な計画とする。 |
| | 倉庫・控室・更衣室等 | <ul style="list-style-type: none"> ・スタジオ、多目的室に付帯して、倉庫・控室・更衣室等を設ける。規模は提案による。 ・更衣室は、男女各 1 つ設けるとともに、ロッカーを必要数設置する。 ・その他施設の開館時間以外において、利用者が休憩できるスペース、管理スペース等を必要に応じて設ける。 |
| | 屋内広場 | <p>大型遊具付き広場（乳幼児一時預かり、授乳室・子ども用トイレ・おむつ替スペース含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生高学年までを対象に、床面から天井までの空間を最大限活かした巨大ネット遊具や巨大すべり台、山型トランポリン、壁面に設置するスロープ、ボルダリングなど、体を動かしてダイナミックな遊びが可能な施設・設備を整備する。 ・可能な限り柱の少ない空間とするとともに、面積は 400 m²以上とし、階天井高は少なくとも 2 階層以上は確保し、高低差を活用した遊び・活動が可能なスペースとする。 ・広場内における回遊性を確保し、子どもが自由にかつ長時間にわたって連続して遊ぶことのできる空間とする。安全で変化に富むとともにシンボル性の高い空間とする。 ・乳幼児を対象にボールプールや小型遊具などを設置する。管理者の目の届く位置にお絵かきや積み木など、静かに遊べるコーナーを設置する。 ・乳幼児とその他の利用者の動線を分けるなど、安全性に配慮する。 ・本施設利用者等を対象とした、乳幼児の一時預かりサービス機能を導入する。 ・その他授乳室、子どもトイレ等の機能を整備する。 |

| 施設・機能 | | | 規模・内容等 |
|------------------|--------------|-------------------|---|
| 機能 導入 (※2) | 市民活動推 進機能 | コラーニング・ コワーキング | <ul style="list-style-type: none"> コラーニング・コワーキング、工作作業、会議等での利用が可能なスペースを本施設内の必要な場所に適宜配置するものとする。具体的な内容や規模に関しては提案によるものとするが（スタジオ・多目的室との兼用は不可）、多様な人々をつなぎコミュニティを創出するオープンな空間となることを期待する。 上記活動に関する情報を発信するスペース（掲示板、利用状況表示、チラシ陳列等）を整備するとともに、活動に必要な機能（PC・タブレット、コピー機、デジタル工作機械、ロッカー、倉庫用のスペース等）は提案によるものとする。 |
| | | 個人学習 | <ul style="list-style-type: none"> 施設内に、個人学習に供する座席を60席以上設けるものとする。 個人学習に供する座席は、必ずしも個室内に配置する必要はないが、集中して学習が可能なように配慮する。 |
| | | 共通 | <ul style="list-style-type: none"> PC・タブレットが活用可能な空間とし、座席には電源コンセント（個人学習席は1席1口以上）を設置するものとする。 |
| | 休憩・飲食 機能 | カフェスペース | <ul style="list-style-type: none"> 他の機能と連携し、賑わい・交流・憩いの効果を高める施設として、カフェを整備する。 厨房を設置し、魅力的なカフェ運営を行うことが望ましいが、カフェスペースとして整備し、自動販売機等による提供のみとすることも可とする。 |
| 共用 (※3) | 事務・管理 | 事務・受付・管理スペース等 | <ul style="list-style-type: none"> 施設運営に必要な事務・管理スペース（利用受付機能、案内機能含む）を設ける。 可能な限り1箇所に集約するとともに、利用者にとってのわかりやすさに最大限配慮すると共に、各機能の管理・運営がしやすい場所に配置する。 |
| | その他 | エントランス・ロビー・廊下等 | <ul style="list-style-type: none"> 国道側からのアプローチ、駐車場からのアプローチ双方に対応したエントランスを設ける。エントランスには傘たたみなどに留意した十分な広さの風除室を設けるとともに、風や雪が施設利用に影響を与えないよう配慮する。 ロビーや廊下等の空間に関しては、他の機能と連携した簡易な展示や小規模なイベント等での利用を想定し、照明など必要な設備を整備する。必要に応じて椅子やソファを配置するなど、様々な利用者が心地よく滞在できる空間とする。 |
| | | 階段・EV・トイレ・機械室等 | <ul style="list-style-type: none"> 必要な機能を導入する。 |

| 施設・機能 | | 規模・内容等 |
|---------|------------------------------------|--|
| 屋外 | 読書テラス | <ul style="list-style-type: none"> 敷地南東側に、越後三山への眺望等を確保した形で、読書、休憩等に利用可能な屋外テラスを整備する。冬季については、眺望の確保が可能であれば、テラス部分を利用しない形とすることも可とする。テラスの面積は提案による。 |
| | 屋根付き屋外広場 | <ul style="list-style-type: none"> 中心市街地において、気軽に立ち寄り、休憩できる場、イベント等への対応が可能な場所として、屋根付きの屋外広場を設ける。 電気・水道等の必要なインフラが使用できるようにすること。 広場内への搬入車両等の出入を想定すること。 屋外広場の面積及び屋根の範囲、構造等については、200 m²以上の屋根におおわれた空間を整備することを条件として、提案に委ねるものとする。 |
| 外構・駐車場等 | 外構、利用者用駐車場（優先駐車場含む）・職員用駐車場・利用者用駐輪場 | <ul style="list-style-type: none"> 外構等の整備にあたっては、降雪・積雪への対応を最も重視する。 施設利用者用駐車場と職員用駐車場を合わせて110台以上（うち3台程度は車いす利用者用、うち3台程度はチャイルドシート装着車用）設置することとし、レイアウト等検討することにより、なるべく多くの駐車台数を確保すること。 車いす利用者用とチャイルドシート装着車用の6台程度は、建物出入口に近接して設置するとともに、庇又は屋根等により雨天時においても濡れることなく入館できるようにする。 坂下駐車場に関しては、利便性が低いことを踏まえ、職員駐車場、臨時駐車場としての活用を想定する。 商店街のアーケードと連続し、降雨・降雪時にも濡れずに施設へアプローチできるようにする。 冬季の除雪作業による堆雪場のスペースを確保する。 施設利用者用駐輪場（耐雪3m屋根、転倒防止ラック付）を50台分程度設置する。 冬季の融雪設備を考慮した勾配計画とする。 四季を感じられる樹木等を植栽し、緑豊かな空間をつくる。また、敷地南側の基礎等を残す関係で新たな施設等の整備ができないエリアも含め、積雪等に配慮しながらも、オープンスペース・緑地等を確保するように配慮する。 夜間利用の安全確保のため外灯を設置する。また、防犯灯の機能にも配慮する。 |

※1 機能に対応した諸室の整備が求められる機能

※2 他の機能との兼用による整備や他の機能と一体となった整備が認められるもの

※3 その他必要な共用機能